

# 番組審議会

## 第669回

2023年3月20日

### ■ 審議会の構成

委員総数	10名
委員長	音 好 宏
副委員長	中 江 有 里
委 員	江 澤 佐知子 尾 縣 貢
	萱 野 稔 人 喜田村 洋 一
	佐 藤 智 恵 長 嶋 有
	水無田 気 流 目加田 説 子

TBSテレビ	佐々木 社 長
	龍 宝 取締役
	井 田 取締役
	瀬戸口 編成局長
	米 田 報道局長
	山 岡 調査報道番組部長
	松 本 番組プロデューサー
	中 田 編成考査局長
	村 田 視聴者サービス部長
	天 野 番組審議会事務局長

### ■ 議事概要

#### (1) 審議事項

1) 「東日本大震災12年Nスタ つなぐ、つながるSP “いのち”」

3月11日(土) 14:00~15:54放送分について

2) その他

#### (2) 事務局報告事項

1) 視聴者からの声について

2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】（「東日本大震災12年NスタSP」について）

□12年経っても特番編成したことを評価したい。他局では、東京から出なかったり、ナレーションを多用したりした特番もあったが、TBSは現地中継で「つながぐ、つながる」ということを非常に大事にしていた。

□テレビ局の垣根を越えた共同プロジェクトを推進されたことは評価に値する。今後もこの取り組みを是非継続して頂きたい。

□この番組には継続取材の意義や価値について毎回考えさせられる。一步間違えれば感動の強要になるなど、制作側にもバランス感覚が必要だが、回を追う毎に洗練されてきている。

□ホラン千秋さん、井上アナの進行は落ち着いていて、コメントも的確。特にホランさんの、的確な言葉を探して思いを伝える姿勢に、好感を持った。

□若い人の視点で震災を伝えたことが特に良かった。俳優の宮世さん19歳、記者の阿部さん28歳、保育士の皆さん20代、ナレーションの富田さん23歳。この世代が震災体験を語ってくれたことで、命を守ることの大切さが伝わってきた。

□震災から12年経って、今だからこそ語れる声を拾うことに成功していた。また阪神淡路大震災時の医師のように、時間が経過しないと語れないこと、それを掘り起こして伝えることで、震災報道番組を続ける意義も示されていた。

□トピックを詰め込み過ぎた印象も。制作側の熱意はわかるが、結果として情報不足、消化不良の部分がいくつかあったことは否めない。

□「いのち」というテーマは非常に素晴らしく賛同するが、テーマの幅が広すぎて、集中して視ないと焦点がずれる可能性も。

□防災グッズを、震災遺構となった学校前で紹介することには違和感も。スタジオなり、少し離れたところでもらまだしも、廃校の前でしなくてもとは思った。

□保育園の取り組み。災害時、保護者に子どもを渡さないというのは、保育園と保護者との絶対的な信頼関係があるのでは。保護者がそこまで保育園を信頼するに至った経緯を知りたかった。もう少し広く関係者に取材をして、視せて欲しかった。

□門脇小は他局も含めテレビでよく使われる。生徒が助かったという救いがある点でテレビ向きなのかも知れないが、一方で、大川小のようなほうも視たいという意見も言っておきたい。

□原発のことを避けなくて欲しい。語ることでメッセージ性が強く出てしまうのかもしれないが、3.11 に関しては、原発のことは今こうですよということは必ずあったほうが良いし、切り離せない。自然災害とは違う特徴なので、今どうなんだということは、それこそ風化せないほうが良い。

TBSテレビでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(番組審議会事務局)